

CrackProof 導入事例



～ 株式会社 デザイン・クリエイション様 ～

株式会社 DNPハイパーテック

はじめに

クラッキング（不正な解析、改ざん）被害が増加する今日において、セキュリティ対策を取らないままのアプリケーションは、様々な危機にさらされています。不正にコピーされたアプリが世間に出回ったり、アプリを改ざんされて有料コンテンツを無料でダウンロードされたり、アプリ利用者の個人情報を抜き出されたりなど、一度の攻撃でサービス停止の事態に追い込まれるようなことも珍しくはありません。

しかし、何か対策をしなくてはと考えつつも、具体的には何から始めればよいのかわからないという方も多いのではないのでしょうか。

本書では、セキュリティ対策にお悩みの方のため、実際に CrackProof をご利用いただきクラッキング対策を達成された株式会社デザイン・クリエイション様の事例をご紹介します。

老舗 CAD メーカーが ユーザーのために選んだ クラッキング対策ソフト 「Crack Proof」

製造業を主とした2次元3次元統合 CAD 及び図面文書管理ソフトウェアの開発、販売、保守サービスを行っているデザイン・クリエイションは、導入後13年以上に渡り CrackProof を使い続けている。同社にとって、CrackProof を使用するメリットとは何なのか。その導入経緯と利用状況について、担当者に話を伺った。

インタビュー本文内ではインタビューした時点での会社名を記載しています。

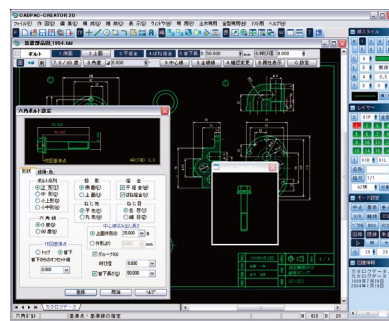


株式会社 デザイン・クリエイション
開発部 部長

富樫 健 様

ご利用中の製品 **CrackProof for Windows**

株式会社デザイン・クリエイションは主に2Dと3DのCADソフトの開発を中心としたソフトウェアメーカーである。その主力製品であるCADPACシリーズは、リリースから35年を超えるロングセラーだ。現在の会社は2004年の設立だが、今回お話を伺った開発部長の富樫健氏はCADPACのWindows版がリリースされた1994年以前から、その開発に関わってきた。同社の歴史は、前身会社がパソコンCADの黎明期に開発したDOS版2D CADから始まり、現在は2D CADと3D CADを融合させたCADPAC-CREATORの他、図面文書を管理する「図管王」などの製品を送り出している。また、他社が製品としてリリースするOEMの開発供給も行っているという。CADPACユーザーの主な業界は、製造系、次いで土木系、建築系の会社が多いという。それ以外にも、官公庁や学校でも導入があるとのことだ。また、同社の製品は、海外でも使われていることが特徴的だ。主にアジアでのユーザーが多く、日本と中国の両方の言語環境で使えるCADPACの別パッケージを販売している。他にも、タイやマレーシアに進出した日系企業が、現地の開発現場で英語版のCADPACなどを使っているケースも多くあるという。



CADPAC-CREATOR 2D 操作画面

導入の背景

クラッキング対策は自社では出来ないと感じた

同社が CrackProof の導入を考えた理由は、海外での普及に絡んで発生したものだ。海外で、同社の製品が複数回にわたりクラッキングされているのが発見されてしまったからである。

クラッキングが見つかった当時、ライセンスやセキュリティの管理も担当していた富樫氏は、どうしようかとその対応に頭を悩ませていた。実際の開発業務では、データのハンドリング設計の開発を主に扱っている富樫氏だが、自身の担当する開発業務や開発部の統括と並行して、一人でクラッキングへの対応をこなしていくことには限界を感じていたという。デザイン・クリエイションの開発のメイン拠点は東京だが、実際の開発に関わるメンバーは海外も含め全国各地で作業している。富樫氏はそうした他の開発メンバーの統括管理も行わなければならない。

そんな折、たまたま別の会社から、ハイパーテックの製品を紹介される機会があったという。製品のことを調べていると、前身会社の創設者で現在はデザイン・クリエイションの最高顧問である竹原氏も、ハイパーテックのことを知っていた。それならば一度、クラッキング対策に CrackProofを試してみようかということになった。

導入のポイント

パフォーマンスを追及

導入前に、最も気になったのはCrackProofの処理をかけることでCADPACのパフォーマンスが低下しないだろうかという心配だった。CADPACはその操作性が利用者の中でも高く評価され、その使いやすさをポイントに選んでいるユーザーは多い。操作におけるパフォーマンスは同社が重視する、最もプライオリティの高い要素である。表示のスピードやデータの保存処理など、操作性において一定の高い評価を得ていても、「なんとかパフォーマンスを上げられる方法はないかと今も苦労しながら開発に取り組んでいる」と富樫氏は語る。

導入後、動作を試してみると、「心配していたパフォーマンスの低下はほとんど見られなかった。」また、セキュリティの面でもCrackProofを導入以降は、被害の報告を受けることは無くなった。以来、13年以上に渡ってデザイン・クリエイションはCrackProofを使い続けている。CrackProofの利用企業には継続率の高い会社が多いそうだが、富樫氏も「今後もきっと使い続けていく」と話した。



今後の展望

iPad 版や Android 版の機能強化へ

CrackProofを導入する以前、富樫氏は自分自身でもコードにクラッキングに対する防御を施したり、試行錯誤を行っていたという。しかし、個人で作業を行うには限界があり、また「対策するとしてもどうしても局所的」になってしまうという。

「その点、CrackProofはソフト全体に対して対策をかけるので、万遍なく防御がかけられる。」それに、CrackProofのセキュリティ処理をかける操作自体は難しいものではなく、極端な話、開発内容を知らない人間でも処理を行うことが可能だ。実際に、富樫氏は今後のCrackProof処理の担当を直接の開発メンバーではない人間に移行しようかと考えている。

現在、デザイン・クリエイションはWindowsで動くソフトと並行して、iPadやAndroidの端末上で動くアプリケーションの開発を続けている。現在はまだ図面のビューイング機能がメインだが、今後は端末での編集など、高機能化していこうと言う。将来的に、様々な機能の追加された同社のアプリをクラッキングから守るため、CrackProofのスマートフォン版が使われる日も遠くはない。



今回、デザイン・クリエイションの例では、CrackProofを導入することで、CADPACのパフォーマンスを下げることなく、クラッキングへの対策を達成することが出来た。また、直観的な操作で簡単にセキュリティがかけられるCrackProofの利便性を実感している。これからクラッキングへの対策を検討している企業や、対策導入後の運用に不安を感じている企業には同社の事例は参考になることだろう。

お客様情報

名称	株式会社 デザイン・クリエイション
設立	2004年3月1日
資本金	5,000万円
事業内容	CADおよび知識情報データベースソフトウェアの開発・販売・サポート

株式会社 DNP ハイパーテック

企業概要

設立	平成6年（1994年）5月18日
所在地	〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町 134 番地 京都リサーチパーク（公財）京都高度技術研究所内
資本金	4,000 万円（大日本印刷株式会社 100% 連結子会社）
代表者	代表取締役社長 友村 潤一

お問い合わせ

<https://www.hypertech.co.jp/contact/>

営業担当者がヒアリングを行い、最適な形をご提案いたします。
また CrackProof の使用感を確認できるトライアルも用意しております。
お電話でのお問い合わせは、**075-322-1228** までお願い致します。

